具体的な施策・重要業績評価 指標(KPI)進捗状況評価票

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保					
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)					
具体的な施策		市内企業の経営支援					
主担当課	経済観光課						
	・むさ	・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を					
	行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。						
施策概要	・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。						
	・産・	学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の					
	振興	!を支援します。					

1 重要業績評価指標(KPI)

	指標名		現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
	7日1示"口	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
					30	00		
	融資実行件数	件	292	283				
				В				
			32					
	商店街イベント事業 補助金交付商店会数	件	28	30				
				В				
			470					
	技術相談を行った 件数	件	463	456				
	i † žX			В				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課 評 価

金融機関からの借入れ利息に対して利子補助を行うことで、市内中小企業における金融の円滑化を図ることができたが、昨年度と比較すると、融資の実行件数は少なかった。また、中小企業退職金共済掛金については、280事業所、延べ28,243人分の補助を行うことで、勤労者福祉の向上と雇用の安定に寄与することができた。

В

イベント事業に対する補助を継続して行うことで、30 商店会、延べ54 事業分の、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店街等への支援を継続することができた。 府中市工業技術情報センターで専門相談員による技術相談を行うことで、市内中小企業者の製品開発や技術革新の取組を支援することができた。

【平成28年度における取組など】

資金融資の利子補助及び中小企業退職金共済掛金の補助を継続するとともに、資金融資の利子補助については、更なる利用増を目指し、制度の趣旨に合った目的や対象の見直しも検討していく。

イベント事業に対する補助を継続して行うことで、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店街等への支援を継続していく。

技術相談を継続して行うことで、市内の中小企業者の製品開発や技術革新の取組の支援が図られるため、今後も、事業の継続実施を図っていく。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価	【担当課評価などに対する意見】				
協議会評価					

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保			
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)			
具体的な施策		多様な人材の就労支援			
主担当課	住宅勤労課、市民活動支援課				
		意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、 意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。			
施策概要	・講座	を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した助成の再就職を支援 とともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組に			
		ての啓発を進めます。			

1 重要業績評価指標(KPI)

	-								
	+15.+m.47		現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	
			目標						
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	
				36.8					
	いきいきワーク府中 の就職率	%	32.1	27.2					
	07 1/1 4EU			С					
					現状値	直以上			
	女性向け再就職支援 の講座数	講座	5	5					
	(グ)時 <u>作</u> 致			Α					

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

高年齢者の職業紹介事業は自所求人開拓に積極的に取り組むなど事業の拡大に努め、 就職者数 215 人、来所者数 2,059 人、自所開拓求人数 1,578 人と都内でもトップレベ ルの実績をあげている。

また、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターと共催等で、就職支援セミナー、合同就職面接会を行った。

出産や介護などの理由により離職した女性の再就職の支援、市内企業における ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての講座を 5 回行った。

В

【平成28年度における取組など】

勤労者福祉振興公社が実施する概ね 55 歳からの無料職業紹介事業「いきいきワーク府中」に対して引き続き支援していく。求人数及び就職者のニーズに対応するため、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターとの連携を図っていく。

講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した助成の再就職を支援するとともに、市内 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めていく。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

~ 17 17 (7 CH					
【担当課評価	面などに対する意見】				
協議会評価					

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保			
基本的方向	2	起業・創業の推進による産業構造の多様化			
具体的な施策		起業・創業の支援			
主担当課	経済観光課、市民活動支援課				
施策概要	体制 ・東京 ネス	・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、相談を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農におけ業や創業に関する多様な支援を行います。			

1 重要業績評価指標(KPI)

	±15.4.π. ¢2		現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
			90					
	起業・創業に関する セミナー参加人数	人	44	115				
				Α				
	コミュニティビジネ				2	4		
	スに関するガイダン ス・個別相談の参加	人	6	24				
	人数			Α				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく、創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保することができた。また、起業・創業に関するセミナーについては4回延べ115人の参加があり、起業・創業希望者の継続的な支援を行うことができた。

平成 26 年度に実施した個別相談に加え、平成 27 年度からはガイダンスを開始したことにより、参加人数が大幅に増加した。

Α

【平成28年度における取組など】

起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保していく。また、創業支援プロジェクト機関における起業・創業に関するセミナー及び創業塾の開催を継続し、引き続き、起業・創業希望者の支援を図っていく。

引き続き、ガイダンス及び個別相談の周知に努め、参加人数の増加を図る。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価	【担当課評価などに対する意見】				
協議会評価					

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	2	2 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成					
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出					
具体的な施策		市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進					
主担当課	経済観光課、広報課						
施策概要	・市民や市内の商業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続いたいと思う市民を増やします。 ・府中市の魅力の再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。						

1 重要業績評価指標(KPI)

		,						
	+15+西公		現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
	京王線府中駅に おける1日の		現状値以上					
			85,279	86,949				
	乗降人員			Α				
					15.0	以下		
	市政情報を容易に 入手できないと	%	17.7	17.3				
	感じる市民の割合			В				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

В

桜まつりやくらやみ祭、酉の市、まんぱくやふるさと祭東京等、市内外のイベントで PRブースを出店し、本市の魅力の発信を行った。(のべ62日)

また、隣接する国分寺市や、京王線の沿線四市、鉄道事業者等と広域で連携し、効果的な観光事業や観光PR活動を実施した。

職員の広報力向上を目的としたマニュアルを作成し、広報紙・テレビ広報・メール配信サービスなどの事業を予定どおりに進めたほか、ホームページ・ツイッターでは、 画像を効果的に活用し、情報発信力を向上させた。

また、市内各駅に設置する駅前案内板の躯体補修及び府中・府中本町・分倍河原・多磨駅の地図面の多言語化を実施した。

【平成28年度における取組など】

新たな観光資源として、本市が舞台として登場する人気漫画「ちはやふる」と・競技かるたを合わせたイベントを開催し、市内外からの誘客に努める。

武蔵国 府中大使を活用した観光PR冊子「府中に夢中」を作成し、市内外での配布を行い、広く本市の魅力の発信を行う。

観光ボランティアによる、市内の観光スポットを巡る観光ガイドツアーを開催し、本市の魅力の発信と地域への愛着の向上を図る。

広報紙・テープ広報の年 36 回発行、ホームページの適正な管理・運用、メール配信サービス及び ツイッターの管理運用、テレビ広報を年 36 本製作・放映、駅前案内板の多言語化、市マスコット キャラクターの管理運用、わたしの便利帳の作成・全戸配布を行う。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進**捗**状況評価(協議会)

【担当課評価	【担当課評価などに対する意見】					
協議会評価						

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成					
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出					
具体的な施策	2	地域の連携によるにぎわいの創出					
主担当課	経済観光課、政策課						
	• 府中	駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街					
	地の活性化を図ります。						
施策概要 ・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの							
	機に	、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体と					
	なっ	て国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。					

1 重要業績評価指標(KPI)

			現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	
	+15.4m. <i>D</i> 7		目標						
指標名		単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	
			現状値以上						
1	休日のけやき並木 通りの歩行者交通量	人	19, 378	19, 378	_	_	_	_	
	畑リの少11有 父理里		※平成27 年度の実績	A					

※進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課 評 価

- ・府中駅周辺を含む中心市街地の活性化を図るため、国の認定する中心市街地活性化基本計画を目指し、中心市街地活性化協議会からは検討結果をまとめた意見書を提出いただいた。また、庁内においても関係課で構成する推進会議を設置し、連携強化及び情報共有を図った。
- A

・ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関連する取組の方向性を示す基本方針を策定した。さらに、ラグビーワールドカップ 2015 で日本代表として活躍された、東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアスの選手による報告会の実施や府中駅伝競走大会にオリンピアンを招待するなど、市民に対する大会気運を醸成するとともに、大会に関連する取組を実施した。

【平成28年度における取組など】

- ・中心市街地活性化協議会から出された意見書を踏まえ、中心市街地活性化基本計画を策定し、国の認 定の取得を目指す。また、府中駅周辺のエリアマネジメントに取り組む新たな組織機構の創設が民間 事業者及び関係団体により進められているので、その検討や手続を支援する。
- ・基本方針を踏まえ、取組の方向性をより具体化したアクションプランを策定する。さらに、市内の関係機関及び団体で構成する府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議を設置し、市民協働の下、取組を推進する。さらに、ラグビーのまち府中推進委員会を設立し、ラグビーを地域資源とした取組(シンボルマークの作成・ラグビー商品の開発など)を推進し、市民協働の下、本市の魅力を市内外に発信する。

※評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C: 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価	【担当課評価などに対する意見】						
協議会評価							

※評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	2 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成						
基本的方向	2	2 郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成					
具体的な施策		歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実					
主担当課	文化振興課、生涯学習スポーツ課 関連課 ふるさと文化財課、美術館						
施策概要	を活 ・スポ	・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。					

1 重要業績評価指標(KPI)

	+15+亜-47		現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
			533,000					
	郷土の森博物館 及び美術館の	人	489,602	498,579				
	入場者数 			Α				
					3	3		
	大学やトップチーム と連携する事業数	事業	2	2				
	こ注が 7 を手未放			Α				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

博物館では、常設展示室やプラネタリウム等を活用し、郷土愛を深めるプログラムを実施した。美術館では、 5 つの企画展及び常設展・所蔵品展の実施、公開制作や美術鑑賞教室等の実施、市内で活動するグループ・個人 の展示による市民ギャラリーの利用(H27年度の総入場者数203,721人)など、一定の成果を得た。

総合体育館において市内の小学生等を対象にトップチームよるバスケットボール教室及びフットサル教室を実施 した。競技未経験の参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声が挙がった。市特有の事業として実行 し、スポーツタウン府中の発展に寄与できた。

Α

市指定の無形民俗文化財である府中囃子は年間を通じ演奏技術の伝承を継続して実施し、武蔵国府太鼓は市民を対象とした講習会を年44回実施した。市史編さん事業では、初めて市内外の大学(東京外国語大学・帝京大学)と連携して調査に取組み、資料収集の成果を得た。

【平成28年度における取組など】

博物館では、特別展の更なる充実や、常設展、梅まつり等を継続して実施し、郷土愛の醸成につながる取組とする。美術館では、展覧会(企画展)を4事業開催し、効率的な広報活動に努め来場者数の増加とともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。

実施済みのスポーツ教室では、男性参加者の割合が高かったため、女性対象のチアダンス教室を新規 に開催する。また、平成28年度の当該新規事業の開催をもって、目標事業数の「3」を達成する見 込みである。

市史編さん事業のなかで、引き続き市内の大学(東京外国語大学・東京農工大学)と連携して調査を進める。市の民俗芸能である府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成を継続して取り組む。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評值	【担当課評価などに対する意見】							
協議会評価								

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	3	若い世代の出産・子育てへの希望の実現					
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり					
具体的な施策		安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実					
主担当課	子育て	子育て支援課、健康推進課					
	・妊娠	・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健					
施策概要	診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に						
	係る母親の負担感の軽減を図ります。						

1 重要業績評価指標(KPI)

	+15+西公		現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
				目標				
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
			現状値以上					
	Fu-CHU こそだて サイト「ふわっと」	人	24,807	26,924				
	アクセス数			Α				
		世帯			現状値	直以上		
	産前産後家庭 サポート事業の		213	224				
	新規登録世帯			Α				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

子育てサイトを継続して運営し、幅広く出産や子育ての支援に関する情報提供を行い、 育児に係る不安の解消等を図った。

産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安の解消等を図った。

Α

妊娠期からの母子の保健指導や健康の保持増進を目的として、妊娠届出を行った全妊婦を対象として、妊婦健康診査 14 回、超音波検査1回の費用助成を行ない、対象者2,337人、延べ受診者数26,710件の健診受診があった。また、出産に関する不安の解消や妊娠期からの子育て支援を目的として母親学級を年36回(3回コース12クール)両親学級を年12回実施し延べ1,183人の参加があった。親子の健康増進にかかる事業は、離乳食教室を年66回開催し、延べ1,564人、親と子の歯みがき教室を年12回開催し、延べ294人の参加があった。妊婦健康診査については妊娠期の健康管理の充実により、安心して子どもを産むことができる環境を整えることに寄与した。各種教室は年間計画により実施し、子どもを安心して育てるための環境づくりに寄与した。

【平成28年度における取組など】

子育てサイトの機能を充実させ、市民にとってより使いやすいツールとするための見直し・検討を 行った。

引き続き、産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を 提供し、育児に係る不安の解消等を図ったとともに、より多くの市民に利用してもらえるよう、医師 会の協力のもと、市内産婦人科等に事業周知のポスター・パンフレットの配布をした。

平成27年度に引き続き事業を実施する。妊婦健康診査は、平成28年度より健診項目にHIV抗体検査と子宮頸がん検診が追加される予定である。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価などに対する意見】						
協議会評価						

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

具体的な施策·重要業績評価指標(KPI)進**捗**状況評価票

(対象:平成 27 年度)

基本目標	3	3 若い世代の出産・子育てへの希望の実現						
基本的方向	1	1 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり						
具体的な施策		安心して子育てができる環境の整備						
主担当課	子育で	支援課、保育支援課、健康推進課						
施策概要	発ま待なむな	な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期 間に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。						
	・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。							

1 重要業績評価指標(KPI)

	主义未成 们间沿 (101)							
			現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
	七冊々		目標					
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
					97	.0		
	新生児訪問実施率	%	86.9	86.1				
				В				
			54					
	特定教育・保育施設 の数	箇所	47	50				
	O) ≬ X			Α				
		%			5	0		
	安心して出産し、 子育てできると感じ		48.5	50.3				
	ている市民の割合			Α				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B: やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

新生児訪問は、家庭訪問により発育状況の確認や子育でに関する指導や情報提供を行うことで、母子の健康増進と子育で不安の解消に寄与した。各種乳幼児健診の受診率は、3~4か月児健診 97.8%、1歳6か月児健診 96.8%、3歳児健診 94.9%など高水準である。予防接種は平均接種率が 92.2%とそれぞれ高水準であり子どもの健康増進に寄与した。ふちゅう予防接種ナビは、順調に登録者が増加し、平成 27年度末登録者 3,126人となった。予防接種ナビにより、予防接種の接種忘れの防止など適切な接種の推進を図った。

Α

認可保育所(私立保育園)の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備 支援を実施し、平成28年4月1日付けで認可保育所を3施設開設した。また、市内保育施設に対して、市職員に よる巡回支援や保育従事者を対象とした研修などを実施し、保育の質の向上を図った。

子育て中の親の孤立化の防止や子育て不安の解消を図るため、市内 11 ヶ所で子育てひろば事業を実施したほか、市保育士やボランティアによる子育てひろばや市民団体の子育てひろば活動への補助を行った。義務教育終了前までの児童を対象に医療費の助成や児童手当の支給を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。

【平成28年度における取組など】

新生児訪問、各種乳幼児健診、予防接種、予防接種ナビは年間通じて実施する。新生児訪問は、必要に応じて保健師の継続支援につなげるほか、里帰り先での新生児訪問の利用者の把握に努める。各種乳幼児健診は年間計画により実施するが健診が子どもの健康増進だけでなく子育て支援の機会になるよう努める。予防接種は安全に実施されるよう市民及び協力医療機関への情報提供等に努めるほか、予防接種北、利用者の状況等の調査により事業導入の効果を評価する。

引き続き、認可保育所等の保育施設の整備を行うほか、多様な実施主体の協力を得ながら一時保育・定期利用保育などの保育サービスの充実を図る。

地域で子育てひろばを展開するとともに、市立保育所の地域子育て支援拠点の整備を進める。また、手当・医療費助成ともに継続して法令等に基づき実施をすることにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価などに対する意見】 協議会 評価

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保					
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり					
具体的な施策		防災・防犯体制の強化					
主担当課	防災危	防災危機管理課、地域安全対策課					
施策概要	・全て	の市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化すると					
	とも	に、災害に強い都市基盤づくりを進めます。					

1 重要業績評価指標(KPI)

+12 +亜 々		単位	現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	
			目標						
	指標名		実績	実績	実績	実績	実績	実績	
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	
		%		80.0					
	日頃から家庭で 災害に対する備えを		62.2	57.4					
	している市民の割合			В					
		A			45	50			
	地域安全リーダー 講習会受講者数		311	332					
	時日公文時日以			А					

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課 評 価

防災の基本である「自助」について、 平成 27 年 3 月に全戸配付した「府中市防災ハンドブック」、広報番組「まるごと府中」や職員の出前講座や地域が行う防災訓練などにおいて、家庭でできる取り組み(自宅の耐震補強、家具の転倒防止)の必要性を説明してきたが、「平成 27 年度実績」は、「現状」62.2%に対して 5.2%減であった。地域安全リーダー講習会について、地域における自主防犯活動の指導者として、地域安全リーダー講習会を継続して実施している。次代を担うため、働く世代の若年層が防犯活動に興味を持ち、地域安全リーダー講習会に参加してもらえるように、府中防犯協会等の協力団体と協働して地域安全リーダー講習会への募集をした結果、40歳代

В

【平成28年度における取組など】

引き続き、上記の取組を推進する他に、平成 28 年度に福祉事業所と防災用品の斡旋の協定を締結したことから、積極的に機会を捉えてPRし、市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制の強化を図っていく。

の男性2名が講習会への参加が実績としてあった。

地域安全リーダー講習会について、課題である若年層の防犯活動への参加を促し推進するため、防犯イベント等を利用し、魅力ある防犯活動、そして自主防犯活動の大切さを啓蒙し、地域安全リーダー講習会へ参加してもらえるように努める。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価	【担当課評価などに対する意見】							
協議会評価								

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保						
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり						
具体的な施策		公共施設・インフラの計画的な管理及び運営						
主担当課	建築施設課、管理課、公園緑地課							
施策概要	が将・老朽	・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。・老朽化が進むインフラ(道路・公園等)を長期にわたり安全に管理していくためインフラマネジメント計画に基づき、推進します。						

1 重要業績評価指標(KPI)

			現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
七冊々		光 / 는	目標							
	指標名	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗		
	公共施設の市民 1人当たりの 延床面積	㎡/人	現状維持							
			2.52	2.49						
				Α						
					74	.0				
	公園や都市緑化で 緑あふれるまちと		70.3	76.2						
	しての市民満足度			Α						

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評価

最適化の取組としては、意見交換会やパブリックコメント手続を実施し、市民意見を踏まえて府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針を策定した。また、有識者や公募市民等で構成される検討協議会を開催し、関係課とともに学校施設の更なる活用に向けて、様々な立場から意見交換を行った。計画的保全の取組としては、引き続き公共施設の劣化状況調査を実施し、その結果を工事予算の優先順位づけに反映することで、効果的な予算執行につなげる仕組みを整えるほか、府中市公共施設保全計画を策定し、計画的保全の取組に関する考え方を体系的に整理した。

Α

街路樹や公園樹木の適切な維持管理、地域まちづくり条例による緑地や公園等の設置、生産緑地の追加指定による減少の抑制など、緑あふれるまちとしての魅力の維持に努めた。また、府中市インフラマネジメント計画に基づく取組として、インフラマネジメントシステムを構築し、道路等の情報の集約化や計画的な予防保全を実施することが可能となった。さらに、けやき並木通り周辺地区道路等包括管理委託による効果の中間評価を行い、事業方針の妥当性を確認した。

【平成28年度における取組など】

最適化の取組については、検討協議会における検討結果を踏まえて、学校施設の更なる活用に向けた基本方針を策定する。計画的保全の取組については、府中市公共施設保全計画に基づき、引き続き効果的な予算配分やライフサイクルコストの低減につながる取組を進めていく。

インフラマネジメントを推進し、引き続き緑の適切な維持、保全に努め、計画的な管理を検討、実施する。また、平成 29 年度に府中市インフラマネジメント白書を更新し、その内容を踏まえて府中市インフラマネジメント計画を改定するため、道路等の現況調査を行う。

の連携した取組として、市の建築物やインフラの総合的かつ計画的な管理を図るため、公共施設等総合管理計画 の策定を進める。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C: 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進**捗**状況評価(協議会)

協議会評価

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保							
基本的方向	2	域コミュニティの活性化							
具体的な施策		地域交流·活動の促進							
主担当課	市民活	民活動支援課、指導室							
施策概要	持て す。 ・相互 やN	者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を るよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めま 友好協定を結んでいる東京外国語大学及び東京農工大学をはじめ、市内の企業 PO等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備 指します。							

1 重要業績評価指標(KPI)

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
	担保石	半四	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
					231	,000		
	各文化センター圏域 でのコミュニティ	人	222,427	228,575				
	事業参加者数			Α				
					現状値	直以上		
	市と大学や企業等が 協働実施している	事業	59	56				
	事業数			В				

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課 評 価

一番集客のある事業の「地域まつり」についても、天候に恵まれたこともあり、文化 センター全てにおいて前年以上の参加者があったため、順調な推移となった。

大学連携については、市内大学との協働・連携推進会議を開催するなど、相互に事業 提案・調整等を行うことで、新たな事業の実施や連携事業数を増やすことができてお り、順調に連携体制の充実を図ることができている。

В

コミュニティ・スクール事業においては、子どもたちの多様な関わりと育ちの着実な推進のために、地域コーディネーターを中心に、学校と地域で協働しての取組を行った。市立小中学校がそれぞれ地域の教育力を生かした日常での関わりの推進を行うことができた。

【平成28年度における取組など】

引き続き、行事開催時のPRをおこなっていくとともに、よりよいPR方法を実践していきたい。 既に参加されている方はもとより、事業に参加したことのない方及び新しく市民となられた方にも参加していただける周知も併せて考えていく。将来も行事が継続していくよう後継者の育成もかんがえていきたい。

協働先の大学や企業等の新規開拓を行うとともに、すでに連携体制が構築されている大学や企業等についても、事業内容の更なる充実を図っていきたい。

引き続き、地域の教育力を生かしたコミュニティ・スクール事業の推進を図っていきたい。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価などに対する意見】							
協議会評 価							

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

基本目標	4	地域とつなが	地域とつながる安心な暮らしの確保						
基本的方向	2	地域コミュニ	也域コミュニティの活性化						
具体的な施策		空き家など	空き家などの活用						
主担当課	環境政	策課	度課 関連課 住宅勤労課、市民活動支援課						
・空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであるこ 施策概要									
旭米佩女	これ	らを有効活用	し、地域:	コミュニティ拠点の整備などを目指します。					

1 重要業績評価指標(KPI)

	× >10 × 50 × 11 × 11 × 11 × 11 × 11 × 11 ×									
			現状	H27年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度		
	+15+西々	22/2	目標							
指標名		単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗		
			実施							
	空き家等を活用した コミュニティ活動 事例		未実施	未実施						
				С						

進捗 A:目標達成に向け、順調に進捗している。

B:やや遅れているが、概ね順調に進捗している。

【平成27年度の取組内容と評価】

担当課評 価

・空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいた体制整備を進め、関連課(利活用の 主担当課)との連携の中で本市の今後の方針を検討した。

 \mathbf{C}

【平成28年度における取組など】

・平成28年度設置の「府中市空家等対策協議会(会長:府中市長)」において本市空き家対策の方向性をご審議いただき、平成29年度内に、本市空き家対策の方向性を定めた「空家等対策計画」を策定する予定である。

なお、空き家(空き店舗)の利活用については、都内区市町村の連絡会において、東京消防庁より、 消防法等の基準に適合するよう周知がされており、また、建築物の用途が変わることによる、建築基 準法や関係法令の新たな基準に留意すべきであることを、庁内の関係課と情報共有しているところで ある。その他、本市特性等も踏まえ、「府中市空家等対策協議会」のご審議により、今後の対応内容 を検討していく。

評価 A:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B:AとC以外の割合

C:重要業績評価指標(KPI)の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価(協議会)

【担当課評価	【担当課評価などに対する意見】								
協議会評価									

評価 A:目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B:目標の達成に向けて、概ね進んでいる。